

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

都道府県名	千葉県	事業実施主体	千葉県、東金市、匝瑳市、山武市、九十九里町、横芝光町	地域再生計画名	潮騒とみどり輝く九十九里・交流と連携の活性化計画
計画期間	平成19年度～平成25年度	評価責任者	千葉県総合企画部政策企画課長、千葉県農林水産部耕地課長、千葉県県土整備部道路整備課長、東金市企画政策部企画課長、匝瑳市企画課長、山武市総務部企画政策課長、九十九里町企画財政課長、横芝光町企画財政課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績				
指標1	農畜産物流通の効率化（輸送時間を約40%短縮）						40%短縮	H25	30%短縮	△	農道整備については、全線が整備されたが、市道整備事業以外の関連する道路で一部未整備の区間が残っているため、最終目標値を10%下回る実現状況となった。
指標2	ちばエコ農産物栽培面積の増加（H17年：約214ha→85%程度の増加）	214ha	H17				396ha	H25	362ha	△	平成23年3月の東日本大震災以降、経営耕地面積が減少し目標値を下回った。
指標3	計画地域内への観光入込数の増大（H17年：約450万人→5%程度の増）	450万人	H17				472万人	H25	350万人	-	市町村合併及び平成22年の観光入込数調査の見直しで調査対象数が半減したことにより、単純に観光入込数の比較はできない。なお、平成23年3月の東日本大震災以降、福島第一原子力発電所事故による風評被害の影響から観光客が大幅減少し、その後回復傾向にあるものの、未だ震災前の水準まで戻っていないと推測される。

②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H）	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	農道整備事業（整備延長）	6,318m		6,318m	農道整備により、農畜産物の輸送時間が短縮され、流通の効率化が図られたと考えられる。今後は、適正な維持管理が図られるよう、広域営農団地農道整備事業九十九里地区促進協議会を通じ、地域の関係者と協議していく必要がある。
	市道整備事業（整備延長）	10,668m		7,518m	用地買収の遅れにより、計画どおりの事業進捗を図ることができなかったものの、今回の整備により地区間交通の円滑化及び生活基盤の安定が図られ、近隣市町村との物流や観光施設等へのアクセス道路として機能が向上した。
その他の事業	地方道路交付金事業の活用	国土交通省の事業を活用し、地方道路を整備する。			道整備交付金事業で未整備区間の路線を平成26年度から社会資本整備総合交付金事業を活用し、事業効果が発揮できるよう継続的に整備を実施中である。
	広域営農団地農道整備事業九十九里地区促進協議会の活用	地域の関係者で組織する協議会において事業の進捗状況、諸問題を情報共有する。			毎年度、促進協議会を開催し、諸問題の情報共有等を行った。
	大型観光キャンペーンの実施	平成19年2月～4月に千葉県初の大型観光キャンペーン「ちばデスティネーションキャンペーン」を展開する。			千葉県、関係自治体、地元関係者及びJRが一体となり、「ちばデスティネーションキャンペーン」を県内全域で実施した。区域内では、「九十九里浜 ウォークフェスタ」等を開催した。
	各市町における観光イベント等	各市町において工夫を凝らした観光イベントを実施する。			やっさまつり、東金さくらまつり、元旦祭り、海開き式、八重垣神社祇園祭等の各市町村ならではの地域資源等を利用した観光イベントを実施した。今後も引き続き各市町村において工夫を凝らしたイベントを開催していく。
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法	県及び市町において最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。
-------	-----------------------------------

⑤事後評価の公表方法	県及び市町ホームページに掲載
------------	----------------

⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道・町道整備と農道整備を一体的に実施し、進捗が図れる路線への予算充当や年度間調整を行うなど整備段階に合わせた予算措置を実施することにより、概ね予定どおり事業を執行することができ、農畜産物流通の効率化、ちばエコ農産物栽培面積の増加といった目標値を概ね達成できた。
------------	--

⑦今後の方針等	今後は、社会資本整備総合交付金事業を活用し、市道整備等をさらに延伸し、安全の確保、生活基盤の安定に加え、アクセス道路としての役割を強化し、観光入込数の増加等を目指してまいりたい。
---------	---